

学校教育目標	☆学び合い 認め合い 未来へかけよう二つ橋 ○自分の考えをもち、進んで学び続ける子を育てます。(知) ○自分も相手も大切に作る心豊かな子を育てます。(徳) ○心と体を鍛え、自ら行動できる子を育てます。(体) ○さまざまな人とのコミュニケーションを通して互いの立場を理解し合い、地域とともに生きる子を育てます。(公・開)				
	学校概要	創立 58 周年	学校長 青木 和裕	副校長 高野 智彦	2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 5
児童生徒数: 468 人		主な関係校: 東野中 相沢小			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	東野中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<主体的に、協働的に社会を生き抜く力>	東野中学校 二つ橋小学校 相沢小学校	夢と目標をもち、自分らしさを発揮しながら主体的、協働的に社会を生き抜こうとする子ども ①2か月に1回の小・中連絡会、年2回の小中交流授業を継続し、すべての教員の協働で小・中一貫カリキュラムの質を高める。 ②それぞれの地域・学校行事を通して、児童生徒の交流を図り、9年間で育てる子ども像を共有する。児童生徒交流日には、中学校の授業や部活動の様子を参観して、中学校に対する不安感を減らし、スムーズな小中の接続を図っていく。

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切にしながら、地域とともに生きる学校を創ります。 ・自分のめあてと見通しをもって課題に取り組み、身に付いた力を振り返って次につなげる力を育てます。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、感謝の気持ちをもって、楽しく学校生活が送れるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 ・自分を取り巻く周りの人とのつながりを意識し、豊かな関わりを通して、自分も周りの人も愛する心を育てます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。②本時の課題と自分のめあてを明確にし、振り返りを生かして、子どもが主体的に学習を進められるようにする。③市学力・学習状況調査のデータ等を活用して実態を把握し、個に応じた指導の手立てを講じて、どの子ども学習の満足感や達成感がえられるようにする。
担当	教務・重点研推進	
徳	道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する。②道徳科年間指導計画に沿った、全学級の道徳科授業公開を年一回以上実施し、保護者や地域の人に「開かれた教育課程」の実現を目指す。③ペア学年や幼保小中の交流活動を通して、自分も相手も大切に作る心豊かな子を育てる。
担当	人権・児童指導・交流	
体	健康教育	①年2回学校保健委員会を開催し、児童の実態に即した健康課題解決のための活動に、家庭と連携しながら全校で取り組む。②歯科衛生士による歯と口の健康チェックを全校で実施する等、歯・口の健康づくりの充実を図る。③「なわとび集会」や「マラソン集会」を通して、体を動かすことの楽しさを知ったり、体力向上を図ったりする。④関連する教科等において食に関する指導を充実させることで、学校としての食育の充実を図る。
担当	体育・保健安全・食育	
公開	自分づくり教育(キャリア教育)	①「横浜の時間」、生活科を中心に、地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自身の変容や成長を自己評価できるようにする。③よりよい学校・地域にしていけるために自分たちでできることを考え、実践できる力を育てる。
担当	キャリア教育・特別活動	
いじめへの対応		①日常に潜むいじめについて積極的に認知し、子どもの心情に寄り添うことを徹底する。②月1回以上定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認をていねいに行うことで再発防止に努める。③いじめ防止研修を実施して、全教職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、年2回の児童アンケートにより些細な変化を見逃さない体制づくりをする。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①4年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが相談役となって月1回の活動を継続して行う。②月に1回、企画会を行い、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営していく場を設定する。③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。
担当	教務部・メンターチーム	
地域学校協働活動		①子どもが安心して学校生活を送れるように、校内の見守りや清掃活動を行う。②子どもたちのアイデアを生かしながら「はなさぼ」の皆さんや学校運営協議会委員の方々と協働して、花でいっぱい学校を創る。③家庭科裁縫実習や生活科まち探検の見守り等、地域学校協働本部の協力を仰ぎながら、子どもが安全・安心に活動できるようにする。
担当	教務部・地域交流	
特別支援教育		①特別支援教育について研修や授業参観を通して理解を深め、誰一人取り残すことなく、授業に参加できるようにする。②スキルアップや国際教室の指導を通して、「できた」「分かった」喜びを実感できるようにする。③別室登校児童が安心して登校できる教室環境を整備し、教職員が一丸となって関わるようにする。
担当	特別支援	
児童指導		①「二つ橋スタンダード」について全教職員で共通理解を図り、指導を徹底する。②職員会議や打ち合わせを通して、全教職員で配慮を要する児童の状況の共通理解を図る。③「Y-Pアセスメント」を活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。④欠席が続く児童や不登校ぎみの児童へこまめな連絡や家庭訪問を行い、いつでも安心して登校できる体制を整える。
担当	児童指導	
安全管理		①保護者や地域の方の協力を得ながら、登下校の安全に努める。②防犯・防災に関する定期的な不審者対応訓練・避難訓練等を通して、危険を回避し、自分の身を守る能力を育てる。③日常的な安全点検・管理・対策を組織的に推進し、体育活動等における事故発生の未然防止に努める。
担当	学校防災・安全	